

糖尿病内科、フレイル外来を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	糖尿病を併存する慢性心不全高齢患者におけるポリファーマシー、潜在的に不適切な薬剤、抗コリンスコアや GLIM(Global Leadership Initiative on Malnutrition)基準とフレイル指標との関連
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 栄養治療支援センター(職名) 特任教授(氏名) 前田 圭介
研究の対象となる方	2024年12月～2025年9月に【心不全】と診断された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2031年1月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>本研究の目的は、高齢者における手段的日常生活動作(IADL)の低下に関与する要因として、糖尿病(DM)、潜在的に不適切な薬剤(PIMs)数やポリファーマシー、および抗コリン負荷の影響を精緻に検討することです。これら複数の薬剤関連因子を統合的に評価することにより、高齢者の機能低下を予防するうえで重要となる介入可能な薬剤学的ターゲットを明確化し、安全性と機能維持の両立を図る薬物療法設計に貢献することを目的としています。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>本研究では、通常診療で得られた診療録情報(年齢、性別、疾患背景、検査データ、処方内容等)を用い、符号化したうえで統計解析を行う。研究目的以外には使用しない。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果等を収集)</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用す	非該当

る学外の者	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2029年1月31日までに 窓口での受付 、 電話等 により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 内科学講座（糖尿病内科）／ 愛知医科大学病院 栄養治療支援センター 担当者：（職名）助教 （氏名）茂木 幹雄 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22877）